

製品詳細

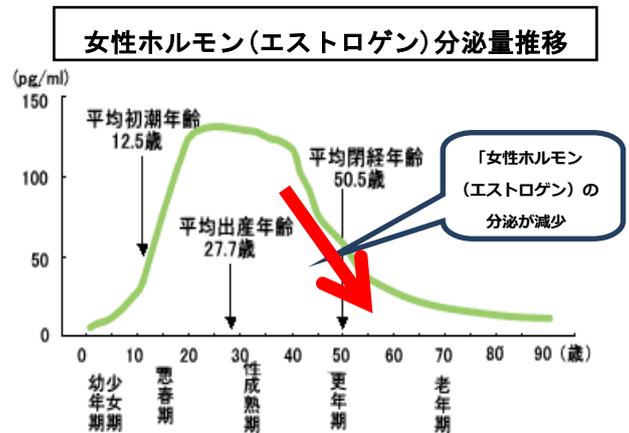
製品名	大豆イソフラボンプラス	
発売日	2014年1月17日(金)	
内容量	約30日分(30粒)	徳用タイプ 約90日分(90粒)
価格(税込)	1,570円	4,200円
摂取目安量	1粒/日	
名称	大豆イソフラボン・ギャバ含有食品	
原材料名	イソフラボン含有大豆エキス、ギャバ(γ-アミノ酪酸)、でんぷん分解物、アマニエキス、でんぷん、食用卵殻粉、イソフラボン含有発酵大豆エキス、セルロース、環状オリゴ糖、ステアリン酸カルシウム、シエラック	
栄養成分表示 1日1粒(201mg) 当たり	エネルギー…0.66kcal、たんぱく質…0.02g、脂質…0.009g、糖質…0.09g、 食物繊維…0.07g、ナトリウム…0.15mg	
内容成分表示 1日1粒(201mg) 当たり	大豆イソフラボンアグリコンとして…25mg(総イソフラボン…40mg)、 GABA(ギャバ)…26.4mg、アマニリグナン…7mg	
ファンケルの こだわり設計		「アグリコン原料使用」 ●吸収力の高いアグリコン原料を配合しました。

参考資料

「大豆イソフラボンプラス」

●「更年期」とは

女性の性成熟期から老年期への移行期。年齢を重ねると卵巣機能が衰え女性ホルモン（エストロゲン）が減少することにより、40代～50代にかけて体が変化し、様々な症状が現れます。時期や症状は個人差がありますが、一般的には閉経という女性にとっては大きな変化が生じる時期の前後5年間くらいに不調を感じる人が多いようです。



●ホルモンバランスの乱れと女性の健康リスク

若い世代であっても、ストレスや生活習慣の乱れなどによりホルモンバランスが乱れてしまうことがあります。さらに、女性ホルモンの分泌の減少によるホルモンバランスの乱れは、40代からの更年期症状をはじめ、60代からの高血圧、高脂血症、動脈硬化、70代からの骨粗しょう症などの疾病にもつながります。ホルモンケアは更年期症状対策としてだけではなく、ストレスを感じやすい若い女性や、健康リスクの高い更年期以降の女性など、全ての女性にとって大事なことです。

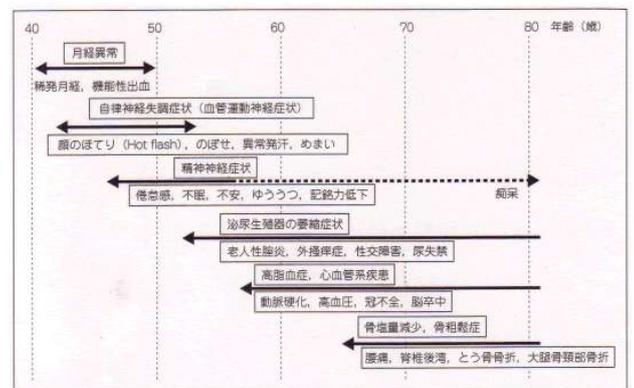
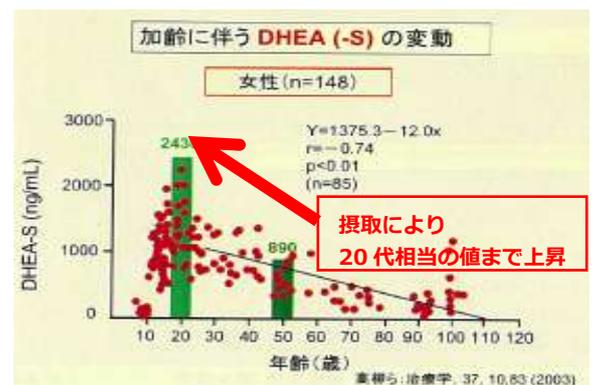


図1エストロゲンの欠乏症状(日本産科婦人科学会生殖・内分泌委員会)

●「大豆イソフラボン」のホルモンバランスへのアプローチ

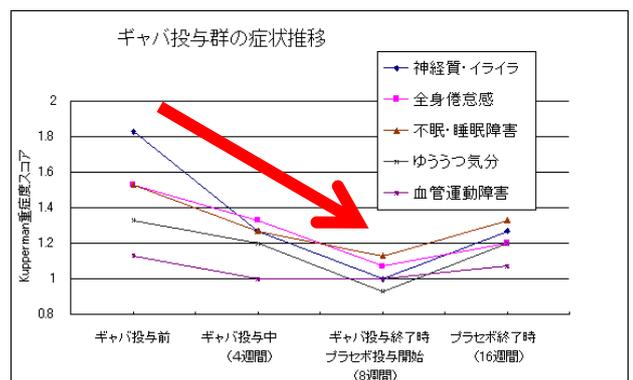
「大豆イソフラボン」や「アマニグナン」はエストロゲン様作用が期待できる成分です。また、「大豆イソフラボン」を摂取することで多様なホルモンの素となる「DHEA」を高めると言われています。「DHEA」は別名「若返りホルモン」とも言われ、20歳前後をピークに減少し、寿命と関連することから、老化の指標とされています。



日本産科婦人科学会神奈川県地方部会誌 Vol42 No 1

●「GABA(ギャバ)」のメンタリティへのアプローチ

「GABA(ギャバ)」の摂取により、更年期の神経質・イライラ、不眠・睡眠障害、ゆううつ気分等が軽減する働きが期待できます。



●「大豆イソフラボン」と骨密度

「大豆イソフラボン」の摂取により骨密度の低下を抑える働きが期待できます。加えて、週3日のウォーキングをすることで、骨密度増加と脂質代謝にも良い影響が期待できます。

